



2020年10月9日

各 位

会 社 名 株式会社セイコー
 代表者名 代表取締役社長 飯塚 周一
 (コード番号2872 東証第2部)
 問合せ先 取締役経営企画室長 田辺 俊秋
 TEL 025-386-9988

第2四半期業績予想と実績との差異、通期業績予想の修正及び 営業外収益に関するお知らせ

2020年4月10日に公表いたしました2021年2月期第2四半期（2020年3月1日～2020年8月31日）の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、以下のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績の動向を踏まえ、2020年4月10日に公表いたしました2021年2月期（2020年3月1日～2021年2月28日）の業績予想を以下のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

(1) 2021年2月期第2四半期（累計）業績予想と実績値との差異 (2020年3月1日～2020年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	2,600	100	105	85	207.79
実績値 (B)	2,368	109	135	117	286.96
増減額 (B - A)	△232	9	30	32	
増減率 (%)	△8.9	9.2	28.8	38.1	
(ご参考) 前期実績 (2020年2月期 第2四半期)	2,532	67	82	72	176.85

(2) 2021年2月期通期業績予想の修正 (2020年3月1日～2021年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	3,800	40	50	45	110.00
今回修正予想 (B)	3,500	40	50	45	110.02
増減額 (B - A)	△300	—	—	—	
増減率 (%)	△7.9	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年2月期)	3,733	△72	△59	△67	△164.34

(3) 業績予想の差異及び修正の理由

第2四半期累計期間につきましては、主力のアイスクリーム部門において新規取引先の開拓や既存取引先への拡販等を行ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染症における5月の緊急事態宣言の解除後においても、経済活動の本格的な再開には程遠く、当第2四半期累計期間の売上高は、2,368百万円（前回予想比△232百万円）となり、当初予想を下回る見通しとなりました。

損益面につきましては、売上減少に伴いより一層の原価低減を図った結果、営業利益は109百万円（前年同期は営業利益67百万円）となりました。経常利益は135百万円（前年同期は経常利益82百万円）、四半期純利益は117百万円（前年同期は四半期純利益72百万円）となりました。

通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、修正しております。

(4) 営業外収益の計上について

4月上旬に発令された新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言に伴う外出自粛等により、春先の需要が最大となる新潟銘菓の笹だんごを中心とした和菓子販売が低調に推移したため、和菓子製造工場である三条工場で生産休業を実施しました。三条工場の休業に伴う雇用調整助成金18百万円を営業外収益として計上しております。

※上記の業績予想等に関する記述につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上